

No. 16-141

産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会 2016 冬

ー安全・安心な産業・化学機械システムの構築ー

(産業・化学機械と安全部門 企画)

協賛 (予定) 安全工学会, エンジニアリング協会, 化学工学会, 石油化学工業協会, 石油学会,
日本電機工業会, 日本エネルギー学会, 日本機械工業連合会, 日本金属プレス工業協会,
日本高圧力技術協会, 日本工作機械工業会, 日本食品機械工業会, 日本信頼性学会,
日本非破壊検査協会, 日本プラントメンテナンス協会, 日本縫製機械工業会, 日本ボイラ協会,
日本流体力学会, 農業食料工学会, 腐食防食学会

開催日 2016年12月15日(木)

会場 滋賀県立大学 産学連携センター2階産学研究交流室 (滋賀県彦根市八坂町 2500)
http://www.usp.ac.jp/campus/cam_map/

開催趣旨 建設機械, 工作機械, 農業・食品機械, 印刷機械, エネルギープロセスをはじめとする各種産業機械, また
化学装置, 化学プラント等, 化学品製造に関わる化学機械のそれぞれの安全に関連する分野で活躍する技術者・
研究者の交流を目的とする部門講演会を開催いたします。研究報告に関する講演だけでなく, 日頃取り組んでい
る技術的問題の提起なども含め, 多くの皆様の御講演および御参加をお待ち申し上げます。「日本機械学会若手
優秀講演フェロー賞」対象講演会となります。

募集分野 セッションは一般セッションとオーガナイズドセッション(OS)を予定しております。

- 一般セッション: 産業・化学機械のイノベーションにおける課題と対策
- OS: 産業・化学機械等の安全における課題の現状と将来展望

長岡技術科学大学准教授の芳司俊郎先生による基調講演「機械安全の動向(仮題)」を予定しています。

講演申込締切日 2016年10月27日(木) ※延長しました

講演原稿締切日 2016年11月25日(金)

講演申込方法 学会ウェブサイト (<http://www.isme.or.jp/kouchu.htm>) から, 「研究発表申込書」をダウンロードし,
必要事項を記入の上, 下記「講演申込先」まで E-mail にてお申込下さい。

原稿作成方法 原稿執筆は日本機械学会の「研究発表に関する規定」 (<http://www.isme.or.jp/conrule.htm#kakikata>) に
準じ (英文 abstract は省略可), A4版2頁の PDF ファイルを作成して下さい。講演原稿申込締切日までに,
sakurai[at]jsme.or.jp([at]を@にご変更下さい)までご提出下さい。

また併せて JST データベース用抄録 (<http://www.isme.or.jp/form/istform.doc>) もご提出下さい。

講演発表の採否 講演発表の採否は, 本講演会運営委員会に一任願います。また, プログラムの情報などは部門ウェブ
サイト (<http://www.isme.or.jp/icm/>) に順次掲載する予定です。

講演使用機器 原則として PC 液晶プロジェクターとします。なお, 発表の際の PC は各自ご持参願います。

講演時間 1題あたり講演15分, 質疑応答5分の計20分を予定しております。

参加登録料 会員: 5000円, 会員外 7000円, 学生員 2000円, 一般学生 3000円, いずれも論文集1冊を含みます。なお,
参加登録料は当日講演会会場受付にて申し受けます。

問合せ・講演申込・原稿送付先 〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階 日本機械学会

産業・化学機械と安全部門 (担当職員 櫻井) 電話 (03)5360-3505 / FAX(03)5360-3509 / E-mail :
sakurai[at]jsme.or.jp([at]を@にご変更下さい)